



上智大学

SOPHIA UNIVERSITY

叡智が世界をつなぐ

大学ガイド (6) オンライン授業

上智大学FD委員会

2026.1改定

オンライン授業とは

- 教室における対面式授業ではなく、教員PC、学生PC、Loyola、Moodleなどを用いてオンラインで行う授業
 - －ハイフレックス授業は対面式授業を含む
- コロナ禍で必要性和実現可能性が示された
 - －台風等自然災害時にも活用する可能性あり

オンライン授業のバリエーション

●オンデマンド授業

- Moodleに講義資料（PDF等）を載せ、課題・レポートを提出させる
- Moodleにナレーション音声入りPowerPoint を載せる
- 講義動画を録画し、Moodleにリンクを載せる

●リアルタイムオンライン授業

- Zoomで教員と学生をつなぎ、対話型授業を行う

●ハイフレックス授業

- 対面式授業とリアルタイムオンライン授業を同時並行して行う

オンライン授業の準備

●基礎情報の取得

ー大学「[オンライン授業ポータル](#)」

- Loyola 上段メニュー「オンライン授業関連」からもアクセス可
- 「オンデマンド授業」「ハイフレックス授業」「Zoom授業」「著作物の二次利用」「学生の理解度把握」「FAQ」を掲載

●準備や実施に用いるPC、録画・録音機材、周辺機器等は「個人教育研究費」から支出してください

●情報システム室が「ICT授業支援デスク」を設置、質問対応やサポートを行っています

オンライン授業構成の要点

- 学生が参照すべき情報を、特定の場所に一元的に置く
 - LoyolaやMoodleが使いやすい
- 「いつ」「何を」すべきかを明示する
 - xxに置いてある資料をxx日xx時までに読んでおくこと
 - xxに関するリアクションペーパーをxx日xx時までにxxにアップロードすること
 - xx日xx時xx分にZoomにアクセスすること。ミーティングIDはxx, パスワードはxx
- トラブル発生時の連絡・対処方法を予め決めておく
 - 特にZoomなどでリアルタイムに進行する際、教員がトラブル対応すると授業が遅延する
 - Zoomに接続できないときはxxに連絡すること（要検討）
 - 遅刻して参加する学生の対処方法も決めておく

他者の著作物の利用について

- 前提
 - － 「公衆送信」：放送やインターネット送信を通じて特定／不特定多数に送信すること（著作権法第2条1項／5項）
 - － 「教育機関における複製等」：授業で使用するために著作物を複製することができる（著作権法第35条）
 - － 35条1の規定により公衆送信を行う場合には、同項の教育機関を設置する者は、相当な額の補償金を著作権者に支払わなければならない（著作権法第35条2項）
- 上智学院総務グループでは、2021年度より一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 ([SARTRAS](#)) に対する補償金の支払いを継続
→著作権者の個別の承諾等なく、オンライン授業の教材（スライド、配布PDFなど）に他者の著作物を含めることができる（[改正著作権法第35条運用指針](#)に定める条件に従うことが必要。）。
- この場合、その著作物の書誌情報（著者、タイトル、出版社、発行年など）を初出時に明記すること。2回目以降は「xxより引用」と都度明記すること
- Type 0～Type 3では、異なるファイルのなかで再度二次利用する場合、ファイル毎に書誌情報を明記してください。Type 4では、毎回の接続において明記あるいは明示
- ご自身の著作物と他者の著作物が明確に区別できるよう表示すること（書籍や論文における引用と同様）

オンライン授業の実施に際して

- 担当科目のオンデマンド化やハイフレックス化は、大学の授業実施方針に依存します
→ 大学からの指示や指針を適宜参照してください



上智大学

SOPHIA UNIVERSITY

叡智が世界をつなぐ

大学ガイド (7) その他の情報

上智大学FD委員会

2026.1改定

緊急時の対応

公共交通機関運行停止時の取り扱い

🔗 休講や試験日の振替などの特別措置

- 自然災害（台風・大雨・大雪等）
- 事故やストライキによる電車等運行停止

🔗 大学ホームページ、 My Sophia 、公式Facebook、公式X（旧Twitter）で措置を公開

🔗 休講の場合：後日補講を実施（大学の指示による）

地震時の対応

② 地震時は、まず身の安全を確保する

- 姿勢を低く（机の下など）、頭を守る

② 揺れが収まったら落ち着いて状況確認

② 大学の非常放送等に従って避難する

② 四谷キャンパスの全ての建物は国の耐震基準を満たしており、すぐに倒壊することはありません

火災時の対応

② 近くで火災を発見したら

- 大声で「火事だ！」と叫び、周囲に知らせる

② 通報

- 近くの屋内消火栓の起動ボタンを押す
- 緊急連絡先に電話：正門守衛所 03-3238-3000、
防災センター 03-3238-3119

② 初期消火：可能であれば消火器の使用を試みる

② 避難

- 服装や荷物にこだわらず避難、絶対に戻らない
- 煙を吸わないよう、タオル等で口元を押さえる
- 姿勢を低くする、エレベーターは使用しない

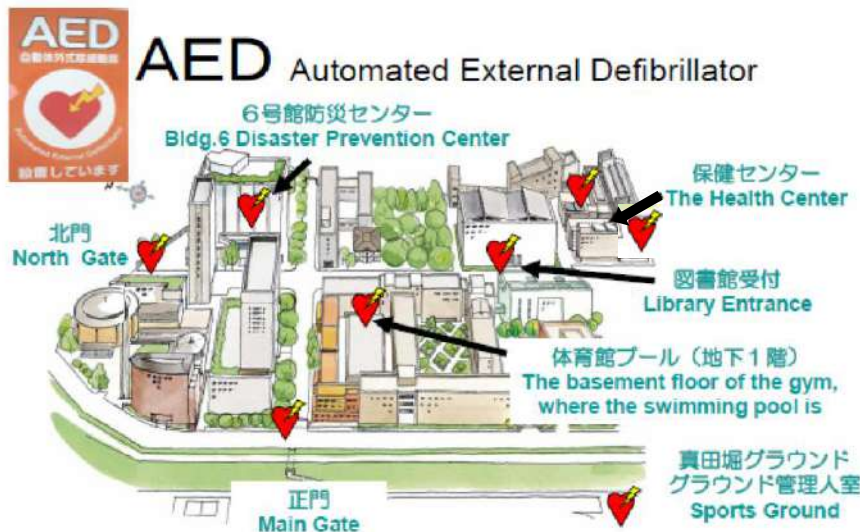
倒れている人を見つけたら

❧ まず倒れている人に声をかけ、返事がない場合緊急連絡先に電話

(03-3238-3000)

❧ 応急手当の心肺蘇生措置：
AEDを使用

❧ 学内のAED設置場所



個人情報保護

🔗 個人情報：学生番号、氏名など

🔗 個人情報保護法

- 「利用目的達成のため必要な範囲以外で個人情報を利用してはならない」

🔗 教員・TAは個人情報を扱うため守秘義務を伴う

🔗 処分の対象

- 第三者への漏洩、ネット公開、学外への持ち出し

🔗 利用後

- 紙媒体：シュレッダー処分、電子媒体：削除

個人情報保護：上智学院の取り組み

🔗 「教育研究活動に関する個人情報の学外持ち出し」の際の 注意事項

- 個人情報の学外持ち出しは原則禁止
- 授業運営に必要で、正当な教育活動の遂行に必要な場合のみ
- 持ち出す際にはメディアやファイルにパスワードや暗号化などを施す
- 漏洩・流出（or恐れ）の場合は直ちに所属長に報告
- その他詳しい内容は、ソフィア掲示板を検索ください。

ハラスメント

- ❧ 発言や行動が相手を不快にさせる／尊厳を傷つける／不利益や脅威を与えること
 - 発する本人の自覚や意図とは無関係
- ❧ セクシャル・ハラスメント
- ❧ アカデミック・ハラスメント
- ❧ パワー・ハラスメント
- ❧ 妊娠・出産及び育児・介護休業等にかかるハラスメント

ハラスメントを行わないために

- ② 同じ発言や行動でも、相手の受け止め方が異なる
- ② 相手が不快なのか否か感じるアンテナを持つ
- ② 普段から感じたことを言える信頼関係を築く
- ② コミュニケーションがうまくとれない背景に、
「NO」と言えない力関係が存在していることを理解する

ハラスメントにあった際には

- ❧ ハラスメントを受けたと感じたら、その行為・発言が不快であること、すぐに止めてもらいたいことを相手に直接、はっきり伝える
- ❧ 意思表示の効果がない／意思表示ができない場合
→ [相談窓口](#) (または下記QRから) に申し出る
- ❧ 被害の記録を取る
(日時、場所、状況、目撃者等)



研究業績の登録

●Researchmapへ登録

- 論文、学会発表、社会活動など
- 職歴、学歴、学位、免許など
- ソフィア掲示板「researchmapへの研究業績情報反映（入力）のお願い」参照のこと

●問合せ：研究推進センター（内線：3173）

関係事務部署の場所と内線一覧

事務部署	場所	内線
学事センター	2号館 1 階	教務 : 3515、学籍 : 3519
基盤教育推進室 (FD委員会事務局)	2号館 1 階	4600
情報システム室	2号館 3 階	3101
教材準備室	2号館地下 2 階	4615
情報システム室	2号館 1 階	3112
ICT授業支援デスク	1 1号館 1 階	4195
図書館	中央図書館 1 階	全般 : 3055 貸出・返却 : 3510
紀伊國屋書店 上智大学店	2号館地下 1 階	3092

学外から：
内線番号の前に
“03-3238” を
ダイヤル

FD活動の紹介

- 全学FD委員会
 - 大学授業アンケート、Good Practice (授業アンケートに基づく表彰制度)、各種セミナー・講演会
 - 全学FDセミナー (Start-up Sophia) など
- 積極的にご参加ください
 - FD講演会、学部・研究科主催の講演会、学外のFD研修など
- FD委員会ホームページ

叡智が世界をつなぐ



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY